

旭川医科大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

旭川医科大学長 西川 祐 司

旭川医科大学学則の一部を改正する学則

旭川医科大学学則（平成16年旭医大達第150号）の一部について、下表右欄（「現行」欄）を同表左欄（「改正後」欄）のように改正する。

※下線部分は、改正箇所を示す。

改正後	現行
<p>(略)</p> <p>(教育課程)</p> <p>第10条 医学科の授業科目は、基礎教育科目、Introduction to Clinical Medicine科目（以下「ICM科目」という。）、基礎医学科目及び臨床医学科目とする。</p> <p>2 前項の授業科目の名称、単位数等については、別表1に定めるとおりとし、当該授業科目の履修年次は、別に定める。</p> <p>3 看護学科の授業科目は、一般基礎科目、専門基礎科目及び専門科目とする。</p> <p>4 前項の授業科目の名称、単位数等については、別表2に定めるとおりとし、当該授業科目の履修年次は、別に定める。</p> <p>(略)</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。</u></p> <p><u>2 令和5年3月31日に在学する者については、改正後の学則にかかわらず、なお従前の例による。</u></p>	<p>(略)</p> <p>(教育課程)</p> <p>第10条 医学科の授業科目は、基礎教育科目、Introduction to Clinical Medicine科目（以下「ICM科目」という。）、基礎医学科目及び臨床医学科目とする。</p> <p>2 前項の授業科目の名称、単位数等については、別表1に定めるとおりとし、当該授業科目の履修年次は、別に定める。</p> <p>3 看護学科の授業科目は、一般基礎科目、専門基礎科目及び専門科目とする。</p> <p>4 前項の授業科目の名称、単位数等については、別表2に定めるとおりとし、当該授業科目の履修年次は、別に定める。</p> <p>(略)</p>

【改正理由】

令和5年4月1日以降に医学部看護学科の入学から適用されるカリキュラム改正に併せて規定を整備するものである。

別表1（第10条第2項関係）（略）

別表2（第10条第4項関係）

別表2（第10条第4項関係）

（略）

区分	授業科目	単位数	授業形式	必修・選択の別
専門科 目 基盤	看護学概論	2	講義	必修
	基礎看護技術学Ⅰ（共通技術）	1	演習	
	基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）	2	〃	
	基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）	1	〃	
	基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）	1	講義	
	コミュニケーション論	1	〃	
	看護フィジカルアセスメント	1	〃	
	人間生涯発達論	1	〃	
	看護倫理	1	〃	
	看護理論	1	〃	
	地域看護学	1	〃	
	早期体験実習Ⅰ（コミュニケーション、プロフェッショナルリズム）	1	実習	
	早期体験実習Ⅱ（北海道の地域医療、看護職）	1	〃	
	基礎看護学実習Ⅰ（療養生活の	1	〃	

別表1（第10条第2項関係）（略）

別表2（第10条第4項関係）

別表2（第10条第4項関係）

（略）

区分	授業科目	単位数	授業形式	必修・選択の別
専門科 目 基盤	看護学概論	2	講義	必修
	基礎看護技術学Ⅰ（共通技術）	1	演習	
	基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）	2	〃	
	基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）	1	〃	
	基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）	1	講義	
	コミュニケーション論	1	〃	
	看護フィジカルアセスメント	1	〃	
	人間生涯発達論	1	〃	
	看護倫理	1	〃	
	看護理論	1	〃	
	地域看護学	1	〃	
	早期体験実習Ⅰ（コミュニケーション、プロフェッショナルリズム）	1	実習	
	早期体験実習Ⅱ（北海道の地域医療、看護職）	1	〃	
	基礎看護学実習Ⅰ（療養生活の	1	〃	

	理解) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程と 看護実践)	2	〃
コ	地域包括ケア論Ⅰ(地域の理 解)	1	講義
ユ	地域包括ケア論Ⅱ(地域の課題 把握)	1	〃
テ	地域包括ケア論Ⅲ(地域の課題 解決)	1	〃
ト	地域包括ケア論Ⅳ(地域課題の 継続的な取組)	1	〃
看護	地域包括ケア実習	1	実習
特 性	成人看護学Ⅰ(健康状態と看 護)	2	講義
と 看護	成人看護学Ⅱ(主な健康障害と 看護)	2	〃
看護	高齢者看護学Ⅰ(老いを生きる 人と看護)	1	〃
	高齢者看護学Ⅱ(老年期の生活 障害と看護)	1	〃
	小児看護学	2	〃
	母性看護学	2	〃
	精神看護学Ⅰ(個人と社会にお ける精神保健)	1	〃
	精神看護学Ⅱ(精神症状と看護 の展開)	1	〃
	在宅看護学	2	〃
	実践看護技術学Ⅰ(成人)	1	演習

	理解) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程と 看護実践)	2	〃
コ	地域包括ケア論Ⅰ(地域の理 解)	1	講義
ユ	地域包括ケア論Ⅱ(地域の課題 把握)	1	〃
テ	地域包括ケア論Ⅲ(地域の課題 解決)	1	〃
ト	地域包括ケア論Ⅳ(地域課題の 継続的な取組)	1	〃
看護	地域包括ケア実習	1	実習
特 性	成人看護学Ⅰ(健康状態と看 護)	2	講義
と 看護	成人看護学Ⅱ(主な健康障害と 看護)	2	〃
看護	高齢者看護学Ⅰ(老いを生きる 人と看護)	1	〃
	高齢者看護学Ⅱ(老年期の生活 障害と看護)	1	〃
	小児看護学	2	〃
	母性看護学	2	〃
	精神看護学Ⅰ(個人と社会にお ける精神保健)	1	〃
	精神看護学Ⅱ(精神症状と看護 の展開)	1	〃
	在宅看護学	2	〃
	実践看護技術学Ⅰ(成人)	1	演習

	実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）	2	〃	
	実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）	1	〃	
	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3	実習	
	成人看護学実習Ⅱ（外来）	1	〃	
	成人看護学実習Ⅲ（慢性期）	2	〃	
	高齢者看護学実習	3	〃	
	小児看護学実習	2	〃	
	母性看護学実習	2	〃	
	精神看護学実習	2	〃	
看護の発展と探求	がん看護学	2	講義	
	チーム医療・リハビリテーション看護論	1	〃	
	国際保健・災害看護論	1	〃	
	看護研究	1	演習	
	卒業研究	2	〃	
	在宅看護学実習	2	実習	
	総合実習	2	〃	
	看護管理・医療安全論	1	講義	
	看護教育論	1	講義	選択
	看護英語文献講読	1	〃	
がんサバイバーシップ	1	〃		
がんエンドオブライフケア	1	〃		
医療経済・看護経営論	1	〃		
家族看護論	1	〃		
認知症ケア論	1	〃		
クリティカルケア論	1	〃		
看護英語	1	演習	選択	

	実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）	2	〃	
	実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）	1	〃	
	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3	実習	
	成人看護学実習Ⅱ（外来）	1	〃	
	成人看護学実習Ⅲ（慢性期）	2	〃	
	高齢者看護学実習	3	〃	
	小児看護学実習	2	〃	
	母性看護学実習	2	〃	
	精神看護学実習	2	〃	
看護の発展と探求	がん看護学	2	講義	
	チーム医療・リハビリテーション看護論	1	〃	
	国際保健・災害看護論	1	〃	
	看護研究	1	演習	
	卒業研究	2	〃	
	在宅看護学実習	2	実習	
	総合実習	2	〃	
	看護管理・医療安全論	1	講義	
	看護教育論	1	講義	選択
	看護英語文献講読	1	〃	
がんサバイバーシップ	1	〃		
がんエンドオブライフケア	1	〃		
医療経済・看護経営論	1	〃		
家族看護論	1	〃		
認知症ケア論	1	〃		
クリティカルケア論	1	〃		
看護英語	1	講義	選択	

			(履修条件あり)
助産学概論	1	講義	選択
助産活動論 I (リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援)	1	〃	【助産師課程選択者は必ず選択すること】
公衆衛生看護学概論	2	〃	選択 【保健師課程選択者は必ず選択すること】
公衆衛生看護活動論 I (個人・家族・集団)	2	〃	選択 【助産師課程及び保健師課程選択者は必ず選択すること】
卒業要件単位数	必修科目106単位, 選択科目18単位以上 (一般基礎科目から6単位以上専門基礎科目及び専門科目から10単位以上の計18単位以上), 合計124単位以上を修得すること。		

(略)

			(履修条件あり)
助産学概論	1	講義	選択
助産活動論 I (リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援)	1	〃	【助産師課程選択者は必ず選択すること】
公衆衛生看護学概論	2	〃	選択 【保健師課程選択者は必ず選択すること】
公衆衛生看護活動論 I (個人・家族・集団)	2	〃	選択 【助産師課程及び保健師課程選択者は必ず選択すること】
卒業要件単位数	必修科目106単位, 選択科目18単位以上 (一般基礎科目から6単位以上専門基礎科目及び専門科目から10単位以上の計18単位以上), 合計124単位以上を修得すること。		

(略)

